

# 突然の大雨 集中豪雨に備えよう!

## 集中豪雨とは

これからの季節、前線や気圧の影響で集中豪雨が起りやすくなつて来り、毎年全国各地で被害が後を絶ちません。この集中豪雨とは、限られた地域に集中して短時間に多量の雨が降ることと言い、別名「ゲリラ豪雨」とも呼ばれています。気象学的に明確な定義はないようですが、目安として直径数十キロメートルの範囲に時間雨量50ミリを超える場合とされています。また台風など異なる予測が困難で地形によっては地すべり、崖崩れなどの土砂災害、洪水などが起きやすくなります。とも言われています。



## 原因は?

集中豪雨の原因のひとつが前線の通過・接近によるものと、大気が不安定になり発達した積乱雲によるものがあります。「大気不安定」とは、地表が日射で温まっている上、上空に寒気が流れ込むと上昇気流が発生しやすくなり、積乱雲の発生・発達を促して豪雨となります。さらにこの時期は、大雨になる要素がいくつも重なることがあり、1時間に100ミリ近い記録的大雨

を長時間引き起こすこともあり、また、都市部においては、ヒートアイランド現象による気流の上昇、高層建築物による気流の乱れなどが、積乱雲を発達させやすくしていると考えられています。

## 日頃から準備を!

集中豪雨が起きた際、素早く対応するためには日頃からの準備が重要です。みなさんも自分の身を自ら守るため、普段から次のようなことに心がけ、準備・確認をしましょう。

- 1 住んでいる地域で過去に水害土砂災害があったかどうか確認しよう。
- 2 いざという時の避難場所、避難経路の確認をしよう。
- 3 非常時に持ち出す荷物の準備をしよう。
- 4 テレビやラジオにより最新の天気予報の確認、消防局テレホンガイド情報の確認をしよう。
- 5 万一災害が大きくなり、危険が迫った場合は、市内185箇所のスピーカーを通じて避難を指示することがあります。その場合には、隣近所助け合って避難しましょう。

## 水害に備えて!

5月15日(土)消防訓練場において、台風や集中豪雨に備えるため、消防職員と消防団員約500名が参加し、水防訓練を実施しました。この訓練は、災害発生時の迅速な対応と水害を未然に防ぐことを目的とし、土のう構築等の訓練を行うことで、消防職員・消防団員の連携強化を図りました。



また、会場には約2700袋の土のうと約4トンの土を用意し、土のうの作り方の説明を受けた後、河川が堤防を越えるのを防止する「積み土のう工法」や「漏水に対する「月の輪工法」」など、状況によって異なる4種類の土のうの積み方や手順を確認しました。

越水：河川水位が上昇し、堤防の上面を越えて水が溢れ出した状態をいう。  
対策：水が溢れないよう堤防を嵩上げする。

### 越水に有効な工法

#### ①積み土のう工法



#### ②改良積み土のう工法



### 漏水に有効な工法

#### ①月の輪工法



#### ②蓋段工法



漏水：河川水位が上昇し、居住地側との水位差が大きくなることにより、浸透した水が地表に溢れ出した状態をいう。  
対策：川側・居住地側の水位差を小さくする。

## 平成22年度(第50回) 市川市消防団消防操法大会結果

平成22年5月30日(日)に第50回市川市消防団消防操法大会が稲荷木2丁目江戸川河川敷「消防訓練場」で開催されました。大会当日はお天気に恵まれ、各分団とも日頃の訓練成果を遺憾なく発揮されました。また、ポンプ車の部と小型ポンプの部の最優秀賞分団は、6月27日(日)に鎌ヶ谷市で開催される第29回東葛飾支部大会に市川市代表として出場し県大会を目指します。大会結果については、以下のとおりです。



奮闘する第22分団(左)と第17分団(右)

### 【大会結果】

- ポンプ車の部
    - 最優秀賞 第22分団
    - 優秀賞 第6分団
    - 優良賞 第23分団
  - 小型ポンプの部
    - 最優秀賞 第17分団
    - 優秀賞 第5分団
    - 優良賞 第19分団
    - 敢闘賞 第18分団
    - 努力賞 第16分団
- 大会に参加された団員の方、大変お疲れ様でした。また、各分団員の家族、自治会等地域住民の方々のご理解とご協力に深く感謝いたします。

# 水難事故に注意!



これから気温の上昇とともに、バーベキューやキャンプ、魚釣り等、海や川へ遊びに行く機会が増えると思います。子供たちのみならず、暑い季節の水遊びは楽しみな行事ではありますが、一つ間違えると取り返しのつかない事故につながります。自然の状況は刻々と変化します。次のことに十分注意して、楽しく河川で遊んでください。



## 事故を防止するためには

- ・飲酒して河川に入るとは絶対にしない。
- ・天気が良くても河川が増水しているときは入らない。
- ・上流地域での集中豪雨などによる急な増水に注意する。
- ・釣りをする時はライフジャケットを身につける。
- ・保護者は子供から目を離さない。



## 水難事故が発生、又は目撃したら

大声で事故が発生したことを周りの人に知らせ、すぐに119番通報をしましょう。流された人から目を離さず、どの辺りまで流されたか、どの辺りで沈んだかなど、詳しい状況を活動する隊員に伝えてください。また、自分の泳力を過信し、泳いで助けに行こうとはしないで下さい。見た目以上には変化していて、自身自身が流されてしまう二次災害につながる恐れがあります。



## 子どもの水難事故防止のために保護者の方にお願い

- 事故は、目を離したわずかな隙に発生しています。
- ・危険な場所は、親子で現地確認し、危険性を教えてください。
  - ・子供だけでの水遊びをさせない。
  - ・水泳中や水遊び中、子供から目を離さない。
  - ・浮き輪を使っているからと安心しない。
  - ・泳ぎに備え、水辺の危険性を知らせ、対応手当を身につけてください。

# もう夏休み 宿泊先では、すぐまず非常口の確認を!

みなさん、夏休みも間近になりましたが、予定は決まりましたか。海や山へ入りがけで出かける事も多いと思いますが、もし旅先で火災や地震等の災害があったらどうしますか。普段とは違う慣れない場所であわてしまつたらどうしようという心配を心がけてください。

## 宿泊先に着いたら

- ・必ず非常口と避難経路の確認をしましょう。
- ・実際に非常口まで歩いてみましょう。



## 寝る前に

- ・たばこの火の消し忘れに注意し、寝たばこは絶対にやめましょう。
- ・いざという時に持ち出せるように貴重品はまとめておきましょう。



## もしも災害が起きたら

- ・係員の指示に従い、落ち着いて行動しましょう。
- ・エレベーターは火災の熱や地震の影響で止まることがある

## 最後にこれだけは確認を!

火災、地震以外の事故もありますので、宿泊先や外出先では携帯電話が使用できるか事前の確認をお願いします。なお、大きな災害時に備えて安否の確認方法を家族で話し合っておきましょう。



給湯器

## 大丈夫ですか?

お出掛け前に再度確認を!



やかん



アイロン

# 救命講習会

## お知らせ!!

毎月2回開催していた救命講習会を、平成22年6月より月3回開催することになりました。

### ○受講対象者

市内在住または在学、在勤者で中学生以上の方

### ○日時

- ・平成22年7月11日(日)
- 午前9時~12時
- 定員50名(無料)

※申込みは、平成22年7月5日(月)午前9時から受付を開始します

- ・平成22年7月15日(木)・26日(月)
- 午前9時~12時
- 両日共に定員30名(無料)

※申込みは、平成22年7月1日(木)午前9時から受付を開始します

### ○講習内容

普通救命講習 I (3時間)

### ○場所

八幡1丁目8-1 市川市消防局5階ホール  
消防局 電話 333-2111(代)



～命をつなぐ連絡先～

## 地域の安全と 安心を守る 消防団員募集中



- ◇ 応募資格  
市内居住または市内で勤務をしている18歳以上の健康な方
- ◇ 問い合わせ  
警防課 市民防災担当室  
TEL 333-2179  
(平日9時~17時)

しょう。また、家を出る前には、火の元の確認をお願いします。